

# 診療機能を維持するために～新型コロナウイルス感染症に対する東大病院の取り組み～

当院では、新型コロナウイルス感染症に対して迅速かつ適切に対応するため、新型コロナウイルス対策本部を設置し、感染対策センター、救命救急センター、新型コロナウイルス感染症専用病棟、微生物検査室や放射線部をはじめとする院内の各専門部署、かかりつけ発熱外来と連携し、様々な対策に取り組んでいます。

## ●診療体制の整備と診療機能の維持

当院では、重症・重篤の感染者の受け入れや、中等症の感染者の増加に伴って、対応に必要な人的資源が増加してきました。そのため、一般病棟の一部閉鎖やICU機能の縮小、診療をやや先延ばしにしても病状に影響しない(経過観察や薬の処方のみの場合など)と考えられる場合の外来・入院・手術の延期などによって、医師や看護師、メディカルスタッフなどの人員を確保し、対応に当たってきています。また、一般病棟やICU病棟の一部を新型コロナウイルス感染症患者に対して集中的に対応できる病棟として設備を整え受け入れています。

一方で、命に係わる疾患、あるいは命を維持するために必要な機能に関する疾患については、手術を含めて縮小することなく診療を行っており、「東京大学医学部附属病院」としての責務を全うすべく診療を続けています。救急医療はこれまで通り継続していますが、感染症例の増加に伴い、通常の体制では対応が困難であるため、病院全科が協力して対応しています。6月からは新型コロナウイルス感染症患者の診療と並行して、診療機能の回復に向け取り組んでいます。

## ●院内感染を防ぐための取り組み

当院スタッフにおける感染対策のほか、ご来院の方にもご協力いただき、対策に取り組んでいます。以下のような多くの取り組みにより、当院では院内感染は発生していません。

### 当院スタッフの感染対策の徹底

当院スタッフに対して、感染制御部を中心として院内感染対策の指導と教育を継続的に行い、いかなる現場においても徹底して感染対策に努めるよう周知しています。また、新型コロナ対策本部が発信する情報を全職員が毎日確認し、対策の徹底を図っています。

### かかりつけの患者さんを対象とした発熱外来

当院にかかりつけの患者さんを対象とした発熱外来(かかりつけ発熱外来)を4月17日より開始しています。外来診療棟の入口で発熱の有無を確認し、発熱がある場合には専用の診察場所で医師による診察を行います。感染が疑われる場合にはPCR検査を行います。また、外来予約当日に発熱や息苦しさなどの症状がある場合や2週間以内に新型コロナウイルス陽性の人に接触した場合などは外来の予約を延期し、まず帰国者・接触者センターに相談するようすすめています。



## 手術前のPCR検査の実施

全身麻酔を行う手術の場合は、原則として手術の前にPCR検査を行っています。これは、院内感染を防ぐという目的だけでなく、新型コロナウイルス感染症患者に全身麻酔を行うと合併症の可能性が高いという報告があることによります。全身麻酔を行う場合以外でも、治療の内容によって入院時にPCR検査を行っています。



発熱の有無を確認するサーモグラフィ(外来診療棟入口)

## 面会の原則禁止

入院中の患者さんへの感染を防ぐために、入退院時、病状説明、手術・検査等、病院側からの依頼でご来院いただく場合や医師が許可した場合を除き、面会を原則として禁止としています。皆様のご協力をお願い申し上げます。



かかりつけ発熱外来 ※今年4月撮影。7月より設置場所を変更。

## ●感染および感染疑いのある場合の分娩への対策

新型コロナウイルス感染症の妊婦の方も分娩ができるように、感染対策を施し対応しています。院内感染予防の観点から、感染の疑いのある方についても分娩が差し迫っている場合は、感染者としての十分な感染対策を講じたうえで分娩対応をしています。当院で分娩予定の場合は妊娠後期に原則としてPCR検査を行っています。



PCR検査の検体採取テント(かかりつけ発熱外来)

当院では多くの産科重症例を受け入れています。そのため、新型コロナウイルス感染症が急速に拡大する状況においても、院内感染を防ぎ、限られた医療資源を有効利用し、多くのお母さんと赤ちゃんの命を守るために、日本産科婦人科学会をはじめとした関連学会からの対応指針に則り、1～2時間を目安に速やかに分娩に至らないと判断される場合には、帝王切開による分娩としています。



かかりつけ発熱外来の設置の様子

## 多くのご支援をありがとうございます

最前線で新型コロナウイルス感染症の診療にあたる当院の医療従事者に対して、多くの方々から心温まるご支援をいただいております。謹んで御礼申し上げます。いただいたご支援は医師、看護師をはじめ東大病院の教職員全員への大きな「力」となっています。皆様からのご支援を私たちの「力」に変え、患者皆さまの命と健康を守る適切な医療を提供するため、引き続き努めてまいります。